めいろうこどもえん　１１月園だより

２０２０年度　年主題〈こころが満たされる〉

0･1･2歳児１１月主題　「ありがとう」

月のねがい

◎保育者の「ありがとう」という祈りに、うれしい気持ちを重ねる。(0)
◎様々なことに興味を持ち動き出す。(0)◎保育者や友だちと園の生活を楽しむ。(0)
◎神さまがくださったたくさんの恵みに感謝する。(1.2)
◎生活や遊びの中で、自分の気持ちや発見を表現する。(1.2)
◎自分でやりたい気持ちと、うまくできずにじれる気持ちを保育者に受け止めてもらう。(1.2)

3･4･5歳児１１月主題　「感じる」

月のねがい

◎神さまイエスさまに愛され、たくさんの恵みをいただいていることを感じる。(3)◎秋の自然物（木の実や落ち葉など）で遊ぶ経験をする。(3) ◎イメージを共有しながら遊ぶ。(3)◎神さまに与えられている一人ひとりの賜物（ギフト）が生かされて遊び、生活する。(4.5)◎遊びの継続が楽しくなり、期待や意欲をもって園生活を送る。(4.5)◎自分たちの生活が様々な人に支えられていることを知り、感謝する。(4.5)

今月の聖句　「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」

伝道者の書12:1

コロナ禍の中、世界中で人の集まりを自粛したり、規制されたりしています。ウィルス感染に歯止めをかけるべく、致し方ない処置です。そういう中、多くの人々は「神はどこにいるのか」と問いかけています。天災は万人に振りかかります。人間の側に責任は問えません。けれども、災いが起こった時、人による道徳悪が引き起こされるのも現実です。コロナ禍の中、トイレットペーパーやマスクの買い占めがありました。自粛期間中に移動した人への誹謗中傷問題もありました。これらは人が引き起こす道徳悪です。

大災害やコロナのような自然災害、癌のような病が起こるのは、神がいない証拠だと訴える人もいますが、この無神論的思想では、万人が共通して持つ倫理道徳観がどこから生まれるのか説明がつきません。そのような考えでは、強者が弱者を食いつぶし、強者のみが生き残るのが自然の流れとなり、そこに倫理道徳は生まれません。つまり、コロナで弱者が亡くなるのは当然であり、弱者への慰めや配慮の思いはなくなります。

けれども、聖書が指し示す天地創造の神は、私たちに倫理的生き方を求めます。私たちがどう生きるべきかを指し示す道徳的基準も聖書を通して与えて下さいました。そのような神を信じて生きるということ、あるいはその基準に照らし合わせて自らを省みる生き方というのは、コロナのような災害が起こった時にこそ、その真価を発揮します。　協力牧師　池田基宣

１１月の行事予定

４日（水）	実りの秋パーティー
５日（木）	学校へ行こう！(年長児)
〃	給食試食会（すみれ）
７日（土）	役員会(10:00～)
９日（月）	給食試食会（たんぽぽ）
１０日（火）	〃　（こすもす）
１１日（水）	秋の一日遠足・弁当日
１２日（木）	給食バイキング
１６日（月）	10・11月誕生会
２１日（土）	入園説明会１１時～
２５日（水）	クリスマス会予行・弁当日

１２月の行事予定

５日（土）	クリスマス会
１１日（金）	もちつき大会
１５日（火）	絵本の会クリスマス公演
１７日（木）	１２月生まれ誕生会
１８日（金）	２学期終園式
２８日（月）	御用納め・弁当日

令和３年度入園説明会
１１月２１日（土）11時より
1号入園願書受付開始
１２月１日（火）
ご紹介を宜しくお願いします！

一日遠足

給食バイキング

牛見学

学校へ行こう！

すもう大会

雑草に学ぶ

肌寒い朝夕を迎える季節になりました。秋晴れの日中は暖かい木漏れ日と心地よい風に包まれて、子どもたちは元気いっぱいに過ごしています。コロナ禍の中、運動会もおすもう大会も無事に終了し、職員はホッとしているところですが、気持ちは早くもクリスマス会の持ち方に思いを馳せています。

さて、園内の木々がたくさん葉を落とし、掃除が大変な時期ですが、まだまだ雑草は元気なようです。広い敷地の維持は、雑草との戦いでもあります。植物学の立場からは、雑草は決して強い植物とも言えず、むしろ弱い植物だそうです。一般には強いというイメージを持たれているこの雑草。残念ながら除草剤などでは雑草を完全に根絶することは難しいですね。しかし、この雑草を完全になくす方法が一つだけあるそうです。それは意外にも「雑草をとらないこと」だとか。まるで禅問答ですね。草取りをしないと雑草が次々とはびこっていく。やがては雑草ばかりか潅木などがどんどん生えてくる。そして長い年月を経て、そこはついには森となってしまう。「雑草」と呼ばれる植物は、一般に他の植物との競争に対して非常に弱い植物であるため、大型の植物や木々が生い茂ると生存できなくなってしまうのです。つまり、私たちが雑草を絶やすために草取りや除草をすることが攪乱(かくらん)となり、結果として、雑草の生存を助けていることになります。攪乱とは、たとえば、洪水や山火事、土砂崩れなど天変地異がその一例です。この予測不能な攪乱がなぜ雑草にとって有利なのか。その理由は、自分にとって生存が困難な環境は、ライバルとなる他の多くの植物にとっても不利な条件であるのです。そこに要求されるのは、けんかの強さよりも、次々と襲いかかる困難に対応するサバイバル能力ではないでしょうか。人間の世界でも安定した環境の下では実力どおりの結果になり、番狂わせの可能性は低いといえるでしょう。悪条件な環境が生存競争の場であれば、「弱い植物」とされている雑草にも活路が見出せる。むしろ悪条件での戦い方を身につけることができれば、強い相手よりも有利になるチャンスなのです。雑草にとって、逆境は敵ではないのです。自らの生存に必要な味方なのです。市場の競争においては、普通なら資本力や人材が豊富な大企業が勝つのが必然です。しかし時として、堂々と勝つこともあります。世の中は予測不能の出来事が次々と起こり、その変化に対応できなければ大企業といえども倒産の憂き目に遭います。むしろ大企業の方が組織が大きいだけ、本当は大きな環境の変化には弱いかもしれません。コロナ禍に苦しむ今も然り。経済環境や自然環境の激変は、誰にとっても等しく嫌なものです。でも、その悪条件を乗り越えることができたら、逆にそれが自分を守ってくれる盾となりうるのです。幼いときこそ、人生の規範となる正しい根を伸ばし、逆境を味方にできる心を育てたいものです。

寒暖の差を感じるこの頃。突然の発熱も多くみられる時期です。子どもたちはなるべく薄着を心がけ、うがいや手洗いの励行を続けて冬に備えてまいりましょう。

園長

大きな行事を終えて…

秋の気持ちの良い気候の中で、毎日たくさん身体を動かしている子どもたちです。

運動会では、野外劇の本番中に曲が止まってしまうハプニング！！そんなトラブルに子どもたちは戸惑いつつも、その場でお遊戯をしてくれました。お稽古とはまた違う自信に満ち溢れた表情やカッコいい姿が見られて、やっぱり子どもたちは本番に強い！と改めて感じ、目がウルウルしっぱなしで見守ることでした。

運動会を終えて、たんぽぽ組に入室しゲーム遊びをした時のこと。子どもたち同士で「笛が鳴ったら終わりだよね！」「約束を守らないと負けだよー！」など、みんなで約束事を意識しながら、それを守って遊ぶとこができました。玉入れやカードひっくり返しのオセロゲーム、大玉転がしで大いに盛り上がりました。勝負をする面白さを知り、負けて悔し泣きするお友だちもいるほど、真剣なたんぽぽ組さんでした。ますます、集団での遊びが広がっていくことでしょう。これからがいよいよ楽しみです。

この度、もも組担任の持田が出産のため産休に入ることになりました。それに伴い、私は10月中旬からもも組の担任をさせていただくことになりました。クラス担任は6年ぶりでドキドキしつつも、○○したいなー、○○もやってみたいなーと楽しみもいっぱいです。4月はハイハイしていた0歳児も今では歩けるようになり、1歳児の玩具を取り合うほどたくましくなりました。もも組のお部屋では、玩具の取り合いで日々絶えませんが、取り合っている玩具と似た玩具を持ってきて貸してもらえるように交渉するお友だちもいて、”賢い！”とびっくりました。少ない言葉や仕草で思いを伝えようとする姿に成長を感じます。

新型コロナウイルスが心配される中ではありますが、今のところ規模を縮小しながらも例年どおり行事を行うことができて本当に感謝です。11月は、実り秋パーティーや遠足、試食会と盛り沢山です。子どもたちが日々興味・関心を深められるよう、ワクワクしながら過ごせるよう工夫していきたいと思います。　　大河

カラダとココロの健やかな発達を

（巡回訪問の目的と意義）

乳幼児期は、体と心の発達の面から最も大切な時期と言われます。子どもには、家庭で見せる姿と集団で見せる姿、その両方がありますが、そのどちらも子どもの真の姿です。３才児検診や就学時健診等では、その両面から診ていくことが大切になってきていると言われています。その意味で、行政主催による巡回訪問が行われ、子どもたちの園での生活や活動の様子を診ていただいています。

※いろいろな困り感が見えてきます。

巡回訪問では・・・

☆子どもの発達に関する専門家の方々に、集団で過ごす様子を観ていただき、子どもが困っている場面や状態を整理しつつ話し合い、個別の手立てを検討します。
☆生活環境を整えることで、子どもたちの力が少しでも発揮できるようにしていきます。

※そのため、巡回訪問を終えてから・・・

巡回訪問で出た手立て等の情報を保護者の方と共有し、子どもたちの健やかな育ちへ丁寧につなげていけるように保護者面談等を実施してまいります。その際は、お声かけさせていただくこともありますので、宜しくお願い致します。

子どもは未来の宝

将来、子どもがよりよく生きていくために、幼少期における楽しい遊びや経験は大きな力になります。誤学習にならないよう、子どもの健やかな育ちと保護者の方々の楽しい子育てにつながるよう願っています。

また、支援の必要な子どもたちも、社会の中で適切な環境を工夫することで、みんなと一緒に自己を発揮して過ごしていくことができます。また、子どもたち自身が自己を受容し、がんばる力を持てることを保護者の皆様にも理解していただき、共に応援していければと願っております。

副園長　圖師　愛